

## 第3章 学校施設の課題と施設整備の基本方針

### (1) 学校施設整備の課題

現状考察と調査結果を踏まえ、本市の学校施設を整備するにあたり、以下の課題が生じています。

#### ① 学校施設の90%以上が築30年以上経過

築30年以上経過する施設のうち、58.7%が40年以上経過しており、鉄筋コンクリート・鉄骨造の耐用年数50年が近づいています。

#### ② 児童・生徒数の減少

現在の児童・生徒数は全体としてはやや減少傾向です。減少が著しい学校も多く、特に小規模校にその傾向が顕著です。児童・生徒の人数に対し、既存学校施設の規模が過大です。

#### ③ 学習カリキュラムの変化

既存学校施設が建設された昭和50年代と比べ、現在の学習カリキュラムは大きく変わっています。ICT教育の導入、異学年交流による交流スペースの確保、インクルーシブ教育等、40年以上前の施設で現在の教育環境に応じた整備を行うには、機器の設置や配線・配管経路の変更の際し、スペースや配置上の不具合が生じています。

#### ④ 生活様式の変化

③と同じく、現代の子供達の生活様式も大きく変わっています。トイレの洋式化、空調設備の導入、防犯・防災意識、ユニバーサルデザイン等、子供達の生活様式に対応した学習環境を整備する必要があります。



多目的トイレを示すサイン



■長寿命化改修の一例 「学校施設の長寿命化改修に関する事例集（文部科学省 HP より抜粋）」

## (2) 学校施設整備の基本方針

学校施設整備の課題に対応し、これから本市の学校教育環境の充実を図るため、施設整備に関する3つの基本方針を次の通り定めます。

### 基本方針1：小中一貫校建設による既存施設の活用と長寿命化

小中一貫教育を導入するにあたり、社、滝野、東条地域に施設一体型の校舎を建設します。既存施設は利活用を検討し、活用に適した施設の長寿命化を図ります。

#### ① 社地域小中一貫校

- ・社小学校・福田小学校・米田小学校・三草小学校・鴨川小学校・社中学校の6校で小中一貫校を計画します。
- ・建設地は社中学校敷地周辺とします。
- ・社中学校既存施設について、校舎は長寿命化を行い再活用し、体育館、格技場は取壊し・改築とします。

#### ② 滝野地域小中一貫校

- ・滝野東小学校・滝野南小学校・滝野中学校の3校で小中一貫校を計画します。
- ・建設地は滝野中学校敷地周辺とします。
- ・滝野中学校既存施設について、補修と新設の比較検討を十分に行い、小中一貫校の機能として必要な部分については増築し、現滝野中学校校舎等の施設の状況を調査して改修を加えていきます。

#### ③ 東条地域小中一貫校

- ・東条東小学校・東条西小学校・東条中学校の3校で小中一貫校を計画します。
- ・建設地は東条文化会館敷地周辺です。県道を挟んで向かいにある現東条中学校敷地は地すべり防止区域内にあるため、既存施設の利用はしませんが、駐車場と運動場として使用します。

### 基本方針2：閉校後の学校施設利活用

小中一貫校建設と併せ、閉校する小学校の「閉校後施設活用検討委員会」を地域毎に立ち上げます。既存施設の状況、安全性、コストをデータ化し、「閉校後施設活用検討委員会」において検証します。その後、教育委員会において「閉校後施設活用検討委員会」の意見を参考に、閉校後の施設活用方針を決定します。

### 基本方針3：ニーズに適した施設の機能整備

学習カリキュラムの変化、生活様式の変化、インクルーシブ教育、ユニバーサルデザインの導入、防災・防犯機能、地域コミュニティの拠点等、時代のニーズに適応できる施設の機能整備を行います。